

## ボツワナ共和国月報(2023年3月)

### 主な出来事

#### 【COVID-19】

- 感染者数

#### 【内政】

- アフロバロメーター社による選挙等にかかる世論調査結果
- 地方議会補欠選挙の実施(ボセレ区、クルートラーヘ区)
- 2022/2023年度補正予算の成立

#### 【外政】

- マシシ大統領、米国テキサス州訪問(2月25日～3月6日)
- マシシ大統領、国連水会議への出席他
- マシシ大統領、民主主義バーチャルサミットに出席
- フランダース地方(ベルギー)財務・予算大臣のボツワナ訪問(3月26～28日)
- キューバ外務副大臣のボツワナ訪問(3月29～30日)
- ボツワナ、英国の狩猟品に関する法案に反応
- ボツワナ、モザンビークに第4陣の兵士を派遣
- ボツワナ、ICC支援を強化する法案を国会に提出予定

#### 【経済】

- 湾岸諸国との観光・貿易促進
- ノルウェー企業による太陽光発電所建設
- 農産物輸入禁止措置の影響
- ベルギー・ダイヤモンド貿易大手とのパートナーシップ
- 2月インフレ率-前月比で0.2%の低下-
- 1月国際商品貿易統計-単月約6億プラの黒字-
- 2022年通期GDP-対前年比実質GDP5.8%増-
- 2022年第1四半期就労許可証保有者数
- 2022年通期電力統計-発電量は持ち直し-
- 2022年通期鉱業生産統計

#### 【当館関連イベント】

- 中学校特別支援学級棟建設計画の契約署名式
- カウンセリングセンターの引渡し
- 帰国留学生との懇談会及び新規留学生壮行会の実施
- 中等学校保健室棟の引渡し

#### 【COVID-19】

- 感染者数

(1) 保健省が発表した過去1カ月(2月25日～3月23日)の感染数は、前月(1月28日～

2月25日)と比して減少した。

- (2) 昨年4月は一日平均感染者数が落ち着いていたものの、5月に入り、感染者数が毎週倍増し、6月9日に保健省は、ボツワナは感染の第5波に入った旨発表した。6月末頃から再び減少が始まり、7月28日には第5波が収束した旨発表された。8月以降、いったん状況は落ち着いていたが、11月以降、感染者数は2桁台に増加し、年を明けた本年1月まで感染者数は増加してきていた。他方、死者数は第5波収束以降、1桁台で推移を続けており、過去1カ月(2月25日～3月23日)の死者は0人であった。

## 【内政】

### ○アフロバロメーター社による選挙等にかかる世論調査結果

アフロバロメーター社が昨年7月に実施した世論調査結果によると、国民議会選挙が明日実施されるとした場合、野党の連合体を支持すると回答した者が49%、与党ボツワナ民主党(BDP)を支持するとした者が22%となった。また野党の支持率は、野党連合民主改革のためのアンブレラ(UDC)(29%)への支持率が一番高く、続いてボツワナ議会党(BCP)(8%)、国民戦線党(BNF)(5%)、ボツワナ愛国戦線党(BPF)(3%)及び革新連合党(AP)(3%)となった。本結果に関して、ボツワナ大学のセアボ講師は、国民が万年与党のBDPではなく、UDCを中心とした野党連合体に期待を寄せていると分析した。

### ○地方議会補欠選挙の実施(ボセレ地区、グルートラーヘ区)

25日、ハボローネ近郊のボセレ区及びハンツィ内のグルートラーヘ区においてそれぞれ空席となっていた2議席を巡って補欠選挙が実施された。ボセレ区ではUDCが340票、BDPが310票獲得し、僅差でUDCが勝利を収めた。グルートラーヘ区ではBDPが346票、UDCが162票を獲得し、BDPが勝利を収めた。

### ○2022/2023年度補正予算の成立

10日、国民議会において、2022/2023年度補正予算(26.1億プラ)が成立した。内訳は、公務員給与の5%引上げ及び経常経費の不足分に対し約20億プラが計上された他、開発予算として、国土・水省から要求のあった給水事業に対し約6億プラが計上された。

## 【外政】

### ○マシシ大統領、米国訪問(2月25日～3月6日)

2月25日から3月6日、マシシ大統領は米国テキサス州(ダラス及びヒューストン)を訪問した。ダラスでは、テキサス大学を訪問し、知識基盤経済について同大学長と意見交換を行った他、同大学のボツワナ分校創設等の働きかけを行った。また、ヘルスケア技

術を専門とする民間企業(Axxess)を視察した他、ビジネス関係者のネットワーキングセッションを設け、ボツワナへの投資誘致活動を行った。ヒューストンでは、ボツワナの家畜の育種・遺伝促進のため、関連イベント等に出席した。大統領夫人、貿易・産業大臣、起業担当大臣、農業大臣及び保健大臣等が同行した。

#### ○ マシシ大統領、国連水会議への出席他

15日、マシシ大統領は国連水会議(22～24日)に出席するためニューヨークに出発した。本訪問にあわせ、大統領は NantWorks 社 CEO と面会し、また、Heliogen Manufacturing Site社(スタートアップ企業)を訪問し、再生エネルギー技術等を視察した。また、ペンシルバニア大学及びバージニア工科大学にて、ボツワナにおける民主主義や自然資源管理に関してそれぞれ講演を行った。大統領夫人、外務大臣、国土・水大臣等が同行した。

#### ○ マシシ大統領、民主主義バーチャルサミットに出席

マシシ大統領は、ジョー・バイデン米国大統領の主催する、第2回民主主義バーチャルサミットに参加した。本サミットは、国内の民主主義を刷新し国際的な残虐行為に立ち向かうために、バイデン大統領が2021年に立ち上げたものである。マシシ大統領は、「経済成長と繁栄の共有をもたらす民主主義」(“Democracy Delivering Economic Growth and Shared Prosperity”)と題したテーマで講演し、ボツワナにおける民主主義の経験について述べた。

#### ○ フランダース地方(ベルギー)財務・予算大臣のボツワナ訪問(3月26～28日)

フランダース地方(ベルギー)政府のディペンダール財務・予算大臣(Hon. Diependaele)が、3月26日から28日にかけてボツワナを訪問した。フランダース地方に位置するアントワープ市はダイヤモンド貿易の世界的な中心地であり、ボツワナとフランダース地方はダイヤモンド分野で長年の協力関係にある。今回の訪問は、2022年2月のアフリカ・EU首脳会議(於ブリュッセル)の傍らで行われた、マシシ大統領とヤン・ヤンボン首相(Hon Jan Jambon)との会談を受けたものであり、貿易・投資関係の向上を目的としている。

#### ○ キューバ外務副大臣のボツワナ訪問(3月29～30日)

キューバのエリオ・ペルドモ外務副大臣(Mr Elio Perdomo)が、3月29日から30日にかけてボツワナを訪問した。ボツワナとキューバは医療分野で強力な二国間協力を行っており、約80人のキューバ人医師がボツワナに派遣されている。カボ・モルワエン外務大臣代理(Hon Kabo Morwaeng)は、キューバの経済発展を可能にするため、ボツワナは対キューバ禁輸措置の解除を支持すると述べた。

#### ○ボツワナ、英国の狩猟品輸入に関する法案に反応

英国議会下院は、ボツワナの狩猟解禁リストに含まれる全ての種を含む狩猟品を、英国に輸入することを禁止する法案を可決した。環境・観光省は、この法案はボツワナの野生生物管理や地域組織に悪影響を及ぼすものであり、科学的根拠のない物語に基づいているとの声明を発表した。一方で、カーマ前大統領は、ボツワナでの狩猟禁止を主張する第一人者であり、英国における法案を支持するためのロビー活動を行っている。カーマ政権は2014年に狩猟を禁止したが、2019年にマシシ大統領によって禁止が解除された。法案はこの後、貴族院に進むが、保守党政府の支援もあり、可決する可能性が高いとみられている。

#### ○ボツワナ、モザンビークに第4陣の兵士を派遣

カギソ・ムムシ国防大臣は、SADC平和維持ミッション(SAMIM)の一環として、ボツワナ国防軍(BDF)第4陣、兵士362人がモザンビークのカーボ・デルガードに派遣されたと発表した。同大臣によると、2021年以降、合計1,338人のBDF兵士がモザンビークに派遣されており、今日までに6人が異なる原因で命を落としている。

#### ○ボツワナ、ICC支援を強化する法案を国会に提出予定

シカムクニ司法大臣は、国際刑事裁判所(ICC)に対するボツワナのコミットメントを強化する法案を国会に提出する予定。本法案は、2017年のICC法に代わるもので、憲法との整合性をより高めるものである。本法案では、身柄を引き渡せない場合、諸外国に代わって起訴が可能となり、共謀罪等についてはより厳しい罪が導入されることとなる。本法案には、2017年の法律では省かれた侵略罪(crime of aggression)も含まれる予定である。

#### 【経済】

#### ○湾岸諸国との観光・貿易促進

マホナツォテ駐クウェート大使は、観光及び貿易促進の観点から、カタール、UAE、クウェート、バハレーン及びオマーンに対する査証の免除を決定した旨を明らかにした。同大使は、インタビューにおいて、ボツワナは、昨年2月のドバイ万博を契機にUAEとの関係強化を進めているとして、同年5月の二重課税回避協定の署名、最近のボツワナ食肉委員会(BMC)によるUAEへの牛肉輸出のための認証取得について明らかにするとともに、他の湾岸諸国との投資促進保護協定の締結を目指していると述べた。

#### ○ノルウェー企業による太陽光発電所建設

ノルウェー企業SCATEC ASA社は、650百万プラを投じて、SELEBI-PHIKWE地区で、発電規模50メガワットの太陽光発電所の建設を開始する。同社は、独立発電事業者

(IPP)として、発電所の建設、所有及び運営を一手に引受けるとともに、ボツワナ電力公社(BPC)と25か年の売電契約を締結する。政府はこの他にも50メガワット級及び200メガワット級発電所の建設の入札準備を進めている。

#### ○農産物輸入禁止措置の影響

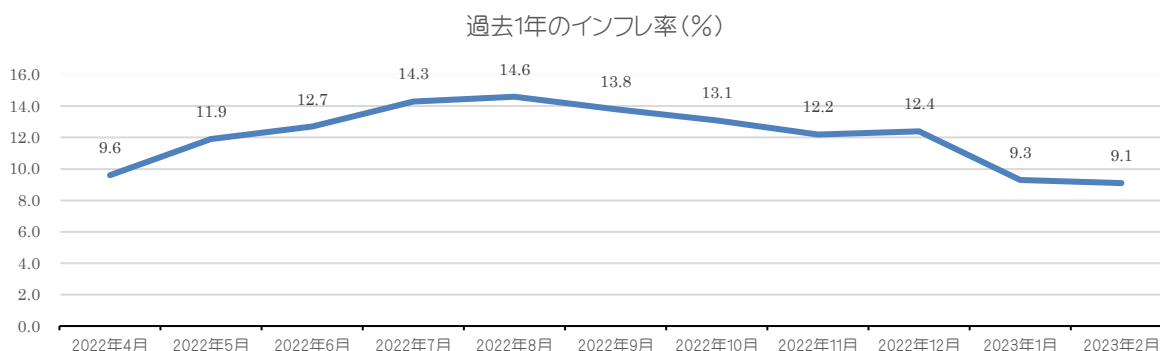
政府は、COVID-19を契機に、自国農家の保護と食糧安全保障の確保の観点から2022年1月初日より実施している16品種の野菜輸入禁止措置により、園芸品の国内生産が36,244トンから45,221トンに増加し、食料輸入が少なくとも23.3%減少していることを明らかにした。他方、産業界からは経済への影響に対する事前評価を実施すべきであったとの意見が寄せられている。この措置は2年ごとに見直される。

#### ○ベルギー・ダイヤモンド貿易大手とのパートナーシップ

27日、マシシ大統領は、国営投資企業ボツワナ資源開発会社(MDCB)を通じ、ベルギー・ダイヤモンド貿易大手HBアントワープに対し24%の出資を決定し、国営オカバンゴ・ダイヤモンド会社(ODC)から同社(子会社:HBボツワナ)に対し、5年間、原石を供給する協定に締結したことを発表した。

#### ○2月インフレ率-前月比で0.2%の低下-

2月の年間インフレ率は、対前月(9.3%)比較で0.2%低下の9.1%となった。各分野の寄与度は、運輸(3.4%)を筆頭に、食品・非アルコール飲料(2.3%)、住宅・水道・電気・ガス・その他燃料(0.8%)、雑品・サービス(0.8%)と続く。昨年8月以降、インフレ率は低下傾向にあるが、運輸部門を除くすべての部門の物価指数は高止まりしている。



#### ○1月国際商品貿易統計-単月約6億プラの黒字-

1月の輸入額は58億3,250万プラで、前月(12月)(輸入額(改訂値):79億4,470万プラ)比で26.6%減少した。他方、輸出額は64億4,720万プラで、前月(同)(輸出額(同)):78億8,770万プラ)比較で18.3%減少した。この結果、貿易収支は6億1,480万プラの黒字となった。

(分野別内訳:上位5分野(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	燃料(22.9)	ダイヤモンド(16.2)	食料・飲料・タバコ(15.1)	機械・電機機器(13.0)	化学・皮革製品(10.7)
輸出	ダイヤモンド(81.7)	銅(7.9)	機械・電機機器(3.0)	家畜(1.7)	塩・ソーダ灰(1.6)

(国別内訳:上位5か国(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南アフリカ(61.4)	カナダ(5.8)	米国(5.4)	ナミビア(4.5)	中国(3.9)
輸出	UAE(27.3)	ベルギー(19.5)	インド(16.0)	南アフリカ(15.7)	中国(7.2)

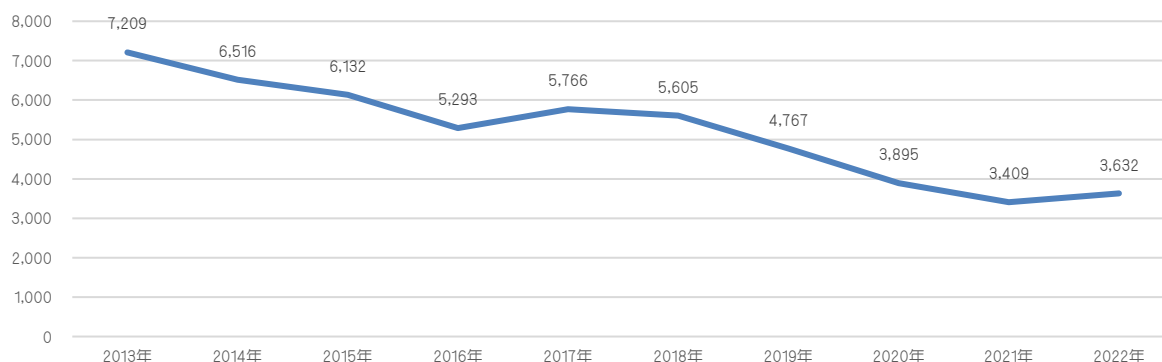
### ○ 2022年通期GDP-対前年比実質GDP5.8%増-

2022年の実質GDPは、前年比で5.8%増となった。部門別に、電力生産量の大幅な増加により水・電力部門が48.6%増と大幅に増加した他、世界的なダイヤモンド市場の好況を反映しダイヤモンド貿易が17.6%、ダイヤモンド加工を中心に製造業が8.2%、鉱業(主にダイヤモンド)が7.5%とそれぞれ増加した。

### ○ 2022年第1四半期就労許可証保有者数

2022年3月末時点での外国人就労許可証保有者数は、3,632人となった。2013年(7,209人)以降、保有者数は減少傾向にある。国別では、ジンバブエ出身者が最多の1,636人、次いで南ア出身者459人、インド亜大陸出身者361名、中国出身者313名となっている。産業別では、農業従事者が最多の878人、次いで教育従事者497人、建設業従事者425人となっている。

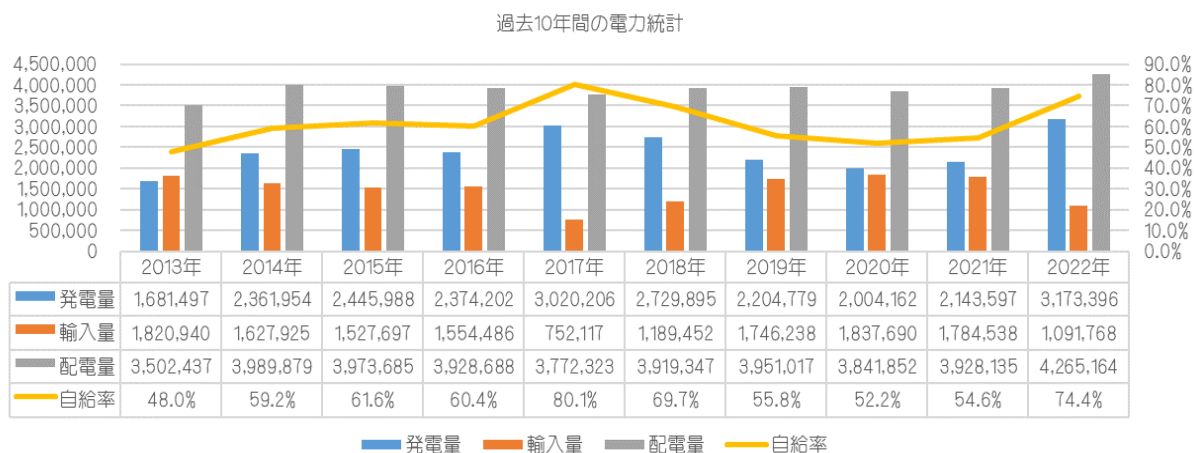
就労許可証保有者数の推移(各年末時点、但し、2022年は第1四半期時点)



### ○ 2022年通期電力統計-発電量は持ち直し-

過去10年間の国内発電量は、増減の変動はあるものの増加傾向にあり、2022年通期の発電量は317万メガワットと過去10年間で最高を記録した。他方、過去10年間の電力自給率は2017年以降減少傾向にあったものの、2021年以降持ち直している。2022年通期の輸入量については109万メガワット、自給率については74.4%と、過去10年間で

は2017年に次ぐ好数値となった。



### ○ 2022年通期鉱業生産統計

2022年通期の鉱産物生産量は、ダイヤモンド等主要産品は前年を上回る。

	ダイヤモンド (千カラット)	石炭 (トン)	金 (キログラム)	銀 (キログラム)	銅 (トン)	ソーダ灰 (トン)	塩 (トン)
2021年第1四半期	5,040	516,868	174	n.a.	n.a.	71,638	69,275
2021年第2四半期	5,827	485,642	186	n.a.	n.a.	57,962	101,776
2021年第3四半期	6,500	549,227	176	6,757	7,517	65,195	169,826
2021年第4四半期	5,329	469,481	113	3,626	4,225	67,043	143,751
2021年通期	22,696	2,021,218	649	n.a.	n.a.	261,838	484,628
2022年第1四半期	6,299	547,921	122	5,178	5,615	75,241	59,714
2022年第2四半期	5,576	599,474	150	7,542	8,237	61,647	54,124
2022年第3四半期	6,726	662,262	83	8,507	9,438	82,224	135,831
2022年第4四半期	5,878	651,211	71	9,947	10,911	66,103	73,634
2022年通期	24,479	2,460,868	426	31,174	34,201	285,215	323,303

### 【当館関連イベント】

#### ○ 中学校特別支援学級棟建設計画の契約署名式

9日、ハボローネ市内にて、大森大使出席の下、令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力(マルラマンティ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画)の贈与契約(G/C)の署名式が行われた。本事業は同中学校敷地内に、特別支援学級棟を新たに建設し、特別な支援を要する生徒に対して、補習授業を行う教室等を整備するもの。

#### ○ カウンセリングセンターの引渡し

15日、カトレン地区にて、大森大使出席の下、令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力(カトレン地区若者のためのカウンセリングセンター建設計画)の引渡式が行われた。本事業はステッピング・ストーンズ・インターナショナル(ローカルNGO)の敷

地内に、カウンセリングセンターを建設し、地域の若者やコミュニティに対し、心理的支援を行う適切な環境を確保するもの。

○ 帰国留学生との懇談会及び新規留学生壮行会の実施

17日、元国費留学生（研究留学生、教員研修生）、新規国費留学生、当地外務省及び教育・技術開発省関係者、JICA長期研修生を大使公邸に招待し、ネットワーキング及び新規留学生の壮行会を行った。歓迎挨拶にて、大森大使より当地での人材育成支援について説明するとともに、教育・技術開発省からは国費留学制度を始めとする我が国の支援に謝意を表した。

○ 中等学校保健室棟の引渡し

30日、カトレン地区にて、大森大使出席の下、令和2年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（カトレン地区オッディマ中等学校保健室棟建設計画）の引渡式が行われた。本事業はオッディマ中等学校敷地内に保健室棟を建設し、生徒に対し、プライバシーを確保した適切なカウンセリング及び医療処置を行える施設を整備するもの。

（了）